

目次

下水汚泥焼却灰の有効利用

岐阜市

資料6

1 岐阜市の下水道

2 灰全量から「リン回収」

1

岐阜市の下水道(H19年度末)

■行政人口 412千人



- 単独公共下水道 280千人 ↑ 汚泥焼却灰 1,087t/年
- 水洗化人口 246千人
- 脱水汚泥 31,755t/年
- スクリーンかす 399t/年

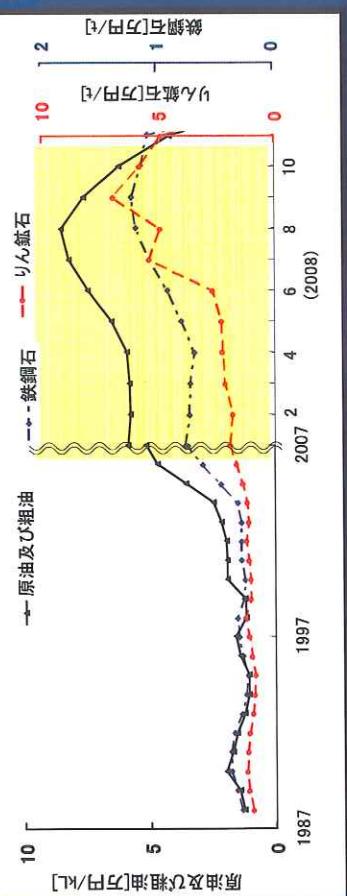
3

汚泥焼却灰中のリン含有量

- 南部プラント 25% (19%~25%)
- 中部プラント
■北部プラント 29% (21%~29%) }
北西部プラント

4

リン鉱石の輸入価格



財務省:貿易統計から

5

「リン」回収フロー



下水汚泥焼却灰からのリン回収量

- 汚泥焼却灰 1,000t／年 (25% P₂O₅) から
- ・リン酸カルシウム (25.9% P₂O₅) 500t/年
- ・処理灰 (10% P₂O₅) 800t/年

技術導入のねらい

1 維持管理コストの縮減

2 未利用資源(リン)の活用

3 循環型社会の推進

7

8

リン酸カルシウム成分含有量

項目	単位	1	2	3	4	規格
△強熱減量	%	31.8	29.2	28.3	26.9	26.9 15以上 又は最大
ヒ素	mg/kg	4.1	21.4	8.2	19.6	21.4 50以下
カドミウム	mg/kg	1.0	1.4	2.2	1.9	2.2 5以下
水銀	mg/kg	<0.005	0.014	<0.005	0.035	0.035 2以下
ニッケル	mg/kg	13	9	6	7	13 300以下
クロム	mg/kg	34	35	20	29	35 500以下
鉛	mg/kg	14	12	12	17	17 100以下

9

処理灰を抜粋

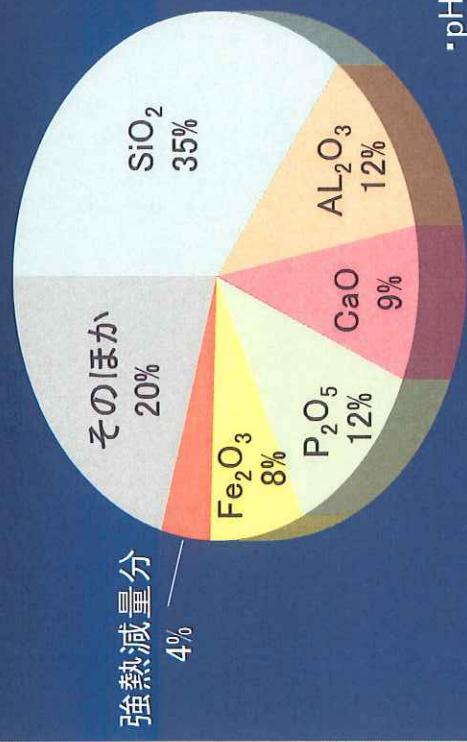
■重金属類を抜粋

【mg/L】

項目	環告46法	CO ₂ 飽和法	土壤環境基準
ヒ素	<0.005	<0.005	0.01以下
セレン	<0.002	<0.002	0.01以下
フッ素	<0.1	<0.1	0.8以下
ホウ素	<0.05	<0.05	1以下
カドミウム	<0.001	<0.001	0.01以下
全ジアン	ND	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	0.01以下
六価クロム	<0.01	<0.01	0.05以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	ND	ND	ND

* 土壤環境基準：土壤の汚染に係る環境基準
 * CO₂飽和法はpH=4で実施

処理灰の成分



10

処理灰含有量試験

項目	含有量	土対法
ヒ素及びその化合物	7.4	150以下
セレン及びその化合物	<0.1	150以下
フッ素及びその化合物	118	4,000以下
ホウ素及びその化合物	8	4,000以下
カドミウム及びその化合物	5	150以下
全ジアン化合物	<1	50以下
鉛及びその化合物	107	150以下
六価クロム化合物	<2	250以下
総水銀及びその化合物	0.19	15以下

* 土対法：土壤汚染対策法

12

処理灰の利用

- 下層路盤材RC40の修正CBR改良材
- 土質改良材
- アスファルトフィラー
- 肥料

13

維持管理コスト(試算)

約6万円/t灰

動力	約0.6万円
燃料	約1.2万円

薬品・材料

約2万円

人件費	
・点検	
・修繕	約2.2万円

*リン酸肥料として約5万円/tで売却した場合、

約3.5万円/t灰

14

下水汚泥焼却灰の有効利用

岐阜市

15

維持管理コスト

6万円/t灰

→ 運転パターンの見直し

→ 焚却設備の自燃化による
回収熱量の利用

→ 薬品の質・量

見直し

さらなる縮減

維持管理コスト(試算)

約6万円/t灰

動力	約0.6万円
燃料	約1.2万円

薬品・材料

約2万円

人件費	
・点検	
・修繕	約2.2万円

*リン酸肥料として約5万円/tで売却した場合、

約3.5万円/t灰

14

下水汚泥焼却灰の有効利用

→ 運転パターンの見直し

→ 焚却設備の自燃化による
回収熱量の利用

→ 薬品の質・量

見直し

さらなる縮減

16